

## 令和7年度 秋季一般入学者選抜試験

### 小論文試験問題

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は8枚綴り、問題は片面に印刷されています。  
試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. この試験の問題は、ただ1つ特定の正解が存在することを前提とするものではありません。  
また、解答者の思想・信条を問うものではありません。
4. 解答用紙に定められた以外のことを記入した場合は、解答が無効になります。
5. 解答用紙への記入は、ボールペン又は万年筆（インクは、黒、青、ブルーブラックに限り、また、プラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用してください。
6. 試験中、試験室で使用できる用具は、上記筆記用具のほか、下書き用に黒色の鉛筆、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、携帯用鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、眼鏡です。ラインマーカー、下敷きは使用できません。時計のアラーム、携帯電話等は電源を切ってください。
7. 解答は横書きにして、原則としてマス目に1字記入してください。
8. 加筆・訂正・削除は、その記入方法も含めて自由とします。ただし、修正液・消しゴムなどを使用することはできません。
9. 加筆・訂正・削除をした場合は、それらを含めて、完成後の答案が字数の制限内に収まるようにしてください。
10. 読みやすい答案となるよう心掛けてください。
11. 試験問題の内容等について質問することはできません。
12. 途中退席はできません。気分が悪くなった場合等は手を挙げて監督者の指示に従ってください。
13. 解答用紙は回収しますので、試験を放棄する場合も持ち帰らないでください。
14. 問題冊子は持ち帰ってください。

## 問 題

次の文章は、大谷弘『道徳的に考えるとはどういうことか』（ちくま新書、2023年）から抜粋した文章である。これを読んで、下記の設問に答えなさい。

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

**【設問 1】（配点：20 点）**

下線部①について。敢えて和合の主張を支持する議論を立論するとしたら、どのような議論が考えられるか。問題文の内容を踏まえて、350 字以上 500 字以内で述べなさい。

**【設問 2】（配点：20 点）**

下線部②について。両者の主張にはどのような共通点があると考えられるか。問題文の内容を踏まえて 350 字以上 500 字以内で述べなさい。

**【設問 3】（配点：60 点）**

下線部③について。問題文の内容を踏まえて、「なぜ法律に従うべきなのか」という問いにつき、和合の議論とキング牧師の議論の相違点を踏まえて 800 字以上 1000 字以内で述べなさい。

**【解答作成上の留意点】**

- I 本問は、解答者の思想や信条を問おうとするものではない。また、解答者の法知識の有無を問おうとするものでもない。
- II 【設問 1】【設問 2】【設問 3】は、それぞれ独立のものとみなして採点する。必要な場合には、他の解答欄に記述したことでも繰り返して記述しなさい。

**【出題趣旨】**

設問 1 は、問題文の読解を前提としつつ、あえて議論をしにくいと思われる立論が論理的にできるかどうかをみるものである。これは、さまざまな立場に立って議論を展開することができる能力は、実務法曹に求められる資質の重要なひとつであることに鑑み、受験生の思考力と論理的な表現力（いわゆるリーガルマインド）を問おうとするものである。

設問 2 は、問題文の内容にとって重要な部分をなす、和合の議論とキング牧師の議論との対比がきちんとできているかどうかをみるものである。和合の議論とキング牧師の議論には、共通点とともに重要な相違点があるが、本問はこのうち、問題文中では「表面的」とも評される共通点について、正確に分析して表現できているかをみる。

設問 3 は、この問題文全体の読解とこれを踏まえた思考力を問う問題であり、「法律」は、それが正義によって裏付けられるものである限り、守られなければならない、換言

すれば、正義によって裏付けられていることに、「法律」を守らなければならないことの根拠が求められるという点を踏まえて説得的に論じることが求められる。